

池田山の治山の現状は



窪田弘子 議員



池田の森 治山のため、ここも広葉樹を植え、本物の森に戻したらどうか。

池田山の保水力は低下し、近年の異常気象に、平成14年・20年のような土砂流出の大災害がまた起きないかと心配だ。より健全な山にと誰もが願うが、維持管理の現状は。

町長

町の4割が池田山の森林。その半分が人工林で大半がヒノキ。国策に沿って植え、50年後には切って収入が得られる筈だった。ところが外材が入ってくるし、後継者難。木はなかなか売れない、作業道も高価でできず木を出すのも難しい。

間伐は5〜10年ごとにするべきなのだが、国の予算が少なく、年16〜20ha。町の人工林は808haあり、とても追いつかない。今まで切り捨て間伐だったが、土石流の原因にもなるので、これからは作業道を作り、利用間伐していく方向だ。

高い所に平成5年100haの池田の森ができ、上品なナッツバキが2000本植えられ、広い石の公園・駐車場がある。山の保水力・治山は考えられなかったのか。この場所に広葉樹を植えて本当の森にしようではないか。

町長

当時、県の指定をうけ、観光・休養の場として、サラソウジュ（ハナツツバキ）を植えたが、これからは新たな植栽をしていく必要がある。

絵手紙の活用を

養老鉄道無料駐車場の効果は絶大

町民の作品

を、福祉に使ったらどうか。低コストでみんなに喜んでもらえる。

町長

検討したい。



ほのぼのとした絵手紙、福祉のおたよりに使ったら？

町長

池田町3駅の無料駐車場は平日7日間で、3日以上の利用車116台。大垣までの定期は1年で通勤14万円、通学7万円もする。そんな利用客増のため無料駐車場を増やされた。また特に混んでいる本郷駅に、南の幹線道路から入れる無料駐車場を。

町長

池田町民の利用も多い北神戸・揖斐も無料駐車場をつくるよう働きかけたらどうか。沿線一丸とならないと。

協議会があるたび話しているが、今後も粘り強く協力を要請していく。

町長

無料駐車場の看板の整備と、「鉄道利用者に限る」と「端から順に行儀よく」を付け加えられる。

看板は整備する。